

従業員のパフォーマンスと関連意識

各指標値一覧

◆パフォーマンススコア

76.0

(前回比較 +0.5)



【例】心身の不調による損失が1%改善した場合

従業員数 1,000人 × 人件費 500万円 × 1% 改善した場合

= 年間5,000万円の改善効果

※あくまでも目安です

パフォーマンス向上のために改善が望まれる症状

ストレス系症状 …… 疲れ、だるさ・イライラ・日中の眠気・気分の落ち込み
自律神経系症状 …… 頭痛・めまい
血行系症状 …… むくみ・冷え性
コリ疲労系症状 …… 目の疲れ・肩こり・腰痛

症状と関連が見られる生活習慣

睡眠による休養が不十分/主食のみの食事/食事の代わりにおやつ

◆職場の指標

○会社満足度 66.4 / 100 (前回比較 -0.8)



○職場の一体感 (ソーシャルキャピタル) 69.0 / 100 (前回比較 +1.3)



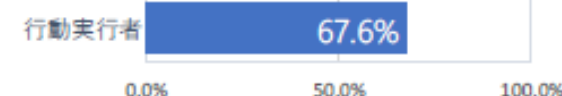
○仕事への熱意・活力 (ワークエンゲージメント) 59.3 / 100 (前回比較 +0.6)



◆健康の指標

	血圧	血糖	脂質
有所見比率	26.6%	29.3%	46.8%
全国平均 (2022年)	18.2%	12.7%	31.6%
評価	-	!!	-

○健康意識スコア 46.3 / 100 (前回比較 -1.6)



※ () 内は前回比較

※会社満足度 : 会社風土・職場環境・人間関係など仕事のしやすさにおける総合的な会社満足度。高評価者: 満足度70以上

※職場の一体感 : 個々人の評価 (1点~4点の範囲) を100点満点に換算。高評価者: 100点換算前の評価点が3点以上 (スコア66.7以上)

※仕事への熱意・活力 : 個々人の評価 (1点~4点の範囲) を100点満点に換算。高エンゲージメント者: 100点換算前の評価点が3点以上 (スコア66.7以上)

※健康意識スコア : 健康行動に関する個々人の行動変容ステージの進行度を独自の計算により100点満点に換算

※行動実行者 : 行動変容ステージが「実行期」「維持期」「確立期」

パフォーマンス得点の平均は76.0点で、パフォーマンス発揮者が全体の77.8%という結果となりました。

ストレス系の症状 (疲れ、だるさ・イライラ・日中の眠気・気分の落ち込み)、自律神経系の症状 (頭痛・めまい)、血行系の症状 (むくみ・冷え性)、コリ疲労系の症状 (目の疲れ・肩こり・腰痛) において、パフォーマンス低下と関連が見られます。

また、行動変容ステージの進行度や健康的な行動への興味関心を表す健康意識スコアおよび、仕事への熱意を表すワークエンゲージメントがやや低めなことが特徴的です。

健診項目について見ると、血糖の有所見率が高く、将来的な疾患に繋がる可能性があるため注意が必要です。

改善施策のご提案ページの他、各部署ごとにも課題と改善のための施策等をコメントしていますので参考にしてください。